

EL・DLのヒミツを紹介します!



EL [Electric Locomotive: 電気機関車]

【EF64】は1964年から1982年に132両製造されました。ぐんま車両センターにはEF64 1000番台トップナンバーの1001号機と最後に製造された1053号機の2両が配置されています。

【EF65】は1965年から1979年に308両製造されました。ぐんま車両センター所属のEF65 501号機はかつて東海道線などのブルートレインなどで活躍しました。500番台のトップナンバーで旅客用の機関車であることから、パッセンジャーの「P」を取って、「PTopp」との愛称で呼ばれることもあります。



EF64 1053号機



EF65 501号機

DL [Diesel Locomotive: ディーゼル機関車]

【DD51】は蒸気機関車を置き換えるために1962年から1978年に649両製造され、四国地方を除く日本全国で活躍しました。ぐんま車両センターにはDD51 842号機、DD51 895号機の2両が配置され、DD51 842号機はお召列車の牽引をしたことがある機関車です。碓氷峠鉄道文化むらにはDD51トップナンバーのDD51 1号機が静態保存されています。1号機は丸い形の前照灯になっているのが特徴です。



DD51 842号機



DD51 1号機

鉄道文化むらの車両紹介

【189系あさま(国鉄色・グレードアップ色)】信越本線を代表する特急「あさま(国鉄~JR)」として活躍。EF63との協調運転用装備を備えた碓氷線を象徴する特急型車両。

【ED42形アプト式電気機関車】66.7%の急坂をラックレールとピニオンギアとの噛み合わせで上り下りするアプト式専用電気機関車。昭和42年に「準鉄道記念物」に指定。

【EF63電気機関車】碓氷線専用の補助機関車。「峠のシェルパ」として碓氷峠の主として長年活躍。全国で唯一今でも鉄道文化むらで「動態保存」されている



あさま(国鉄色)



あさま(グレードアップ色)



ED42形 アプト式機関車



EF63 12号機

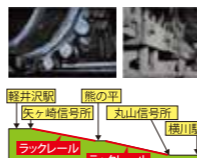
【旧丸山変電所】

碓氷線が幹線鉄道で初めて電化されたことに伴い、明治45年に建設されました。建物2棟(蓄電池室・機械室)の煉瓦造からなっています。



【アプト式鉄道】

レールの真ん中に歯型状のラックレールを敷き、車両の床下に設置された歯車を噛み合わせて急勾配の線路を登っていく方式の鉄道です。



【碓氷峠鉄道文化むらの役割】

園内では、碓氷線の歴史を伝える鉄道資料館や、碓氷線で活躍した各種電気機関車や特急「あさま号」を展示。さらに、EF63形電気機関車の体験運転もできる施設になっています。鉄道の歴史を、見て触れて体験してください。



お申し込み方法

「碓氷峠鉄道文化むら」までお電話・ファックスまたはメールでお知らせください。

- ①代表者氏名 ②住所 ③生年月日 ④性別 ⑤メールアドレス ⑥電話番号 ⑦利用希望日
⑧参加人数(大人こどもに人数) ⑨国籍 ⑩言語 ⑪アレルギーの有無をお知らせください。

◆ツアー実施日は、JR季節列車(SL)運行日に合わせて行います。7月に降に詳細スケジュールを改めてお送りいたします。

TEL.027-380-4163 FAX.027-380-4111
メールアドレス bunkamura@usuitouge.com

●以下の料金が含まれています。集合から解散までの鉄道乗車料金、「信越線謎解きツアー」、「碓氷峠鉄道文化むら見学」(動態保存EF63乗車体験・静態電気機関車保全体験・「シェルパくん」で紅葉ライトアップ乗車体験)、宿泊料金 ●お部屋の指定はできません。●オプション参加の場合は、事前にお知らせください。●歩きやすい服装と靴でご参加ください。●飲み物代は含まれておりません。●雨天決行ですが、警報や注意報が発令される荒天時は中止します。中止の場合は開始時間の24時間前までに連絡いたします。

ツアー催行詳細は「碓氷峠鉄道文化むら」のHPをご覧ください。



碓氷峠

サスティナブル ナイトパーク ツアー



JR季節列車(SL)で行く



高崎駅発→横川駅 1泊2日 碓氷温泉 宿泊

碓氷峠鉄道文化むらでEF63乗車体験・機関車保全体験・紅葉サスティナブルナイト乗車体験、信越本線沿線の謎解き体験

鉄道大好き人間必見!

「碓氷峠鉄道文化むら」で機関車を満喫するチャンス!



スケジュール ※変更になる場合があります。

1日目

●高崎駅集合 9:00 **信越線謎解きラリー①高崎駅編** だるまで有名な高崎市。高崎駅にある2つの謎解き!



高崎だるま
眉毛は「鶴」、鼻から口ヒゲは「亀」。日本における吉祥をお顔にお顔に表現した「高崎だるま」。別名「福だるま」「縁起だるま」とも呼ばれています。また、「七転び八起き」と言われ、いくら転がしてもすぐに起き上がります。重心が安定した形は心の持ち方を示し、どんな困難にも対処できる落ち着いた心と忍耐力を表しています。



どこに謎が隠されているか、場所も見つけながらみんなで解いていくよ!

●高崎駅発 9:47 **季節列車 SL に乗って出発!** SLに乗車!高崎から横川までの約1時間の旅。全席指定です。



奇岩で有名な妙義山



妙義山神社



めがね橋
明治25年12月に完成。芸術と技術が融合した美しいレンガのアーチ橋で、川底からの高さが31mあり、我が国最大級のもです。この4連の雄大なアーチ橋は通称「めがね橋」として親しまれ国重要文化財に指定されています。

●横川駅着 10:49 **信越線謎解きラリー②横川駅編** 信越本線の群馬県側における終着駅。かつてはアプト式で碓氷峠を越える列車で軽井沢まで通じていた!



アプト時代のものが残されている横川駅。矢の沢橋付近には煉瓦造りの施設が残されている。



横川駅の歴史

アプト式により悲願の「横川―軽井沢間」の鉄道が開通したのは明治26年(1893年)。トンネル数26、レンガ造りの橋梁18を要する難工事の末に開通しました。標高差553mの急勾配を走ったのは、ドイツから輸入したアプト式蒸気機関車3900形で、横川―軽井沢間を約80分で結びました。その後、3920形や国産の3980形が導入され、最高時速9.6km、1日24往復、1列車10両(客車)が限界で、トンネルの多さから煤煙対策も問題になりました。



EF63-3号の動輪。碓氷峠で「峠のシェルパ」として活躍。

オプション いつでも参加OK!

碓氷峠鉄道文化遺産の謎解きラリー体験

信越線3駅(高崎駅・碓部駅・横川駅)を巡りながら、子供から大人まで楽しめる謎解きラリーです。高崎駅は『だるま文化』、碓部駅は『温泉文化』、横川駅は『鉄道文化』を出題。信越線・碓氷峠鉄道文化遺産が楽しく体験出来ます。全所要時間2時間~4時間でいつでも気軽にご参加いただけます。全問正解の達成賞は、2025年秋にラストラン予定のDD51のペーパークラフト。鉄道文化遺産になる思い出の車両です。

おひとり様 **500円(税別)** 鉄道文化村SP クリアファイル付
お申込みは鉄道文化むらHPから

オプション 所要時間/約20分

碓氷峠 釜めし今昔物語体験 釜めし付

場所/釜めし資料館

人気駅弁『峠の釜めし本舗 おぎのや』は明治18年創業、今年で140年の老舗です。その歴史をたどりながら、横川駅ホームで、客車と機関車の連結・切離のわずかな時間で販売していた駅弁売子子を『荻野屋ガイドスタッフ』が再現。『おぎのやオリジナル法被』を着ておぎのや本舗前で写真撮影も!

おひとり様 **3,000円(税別)**
お申込みは鉄道文化むらHPから



●碓氷峠鉄道文化むら 13:00 **自由見学 & 体験**



動態保存 EF63 乗車体験 & 保全体験



【保全体験とは】
園内に展示されている貴重な車両を今後も長期にわたり保存していくため、車両の塗装修繕体験や、動態保存しているEF63形電気機関車の検修・検査などの体験を行います。本来はプロが行う作業ですが、特別にお客様に体験していただきます。



【EF63 形電気機関車 日常検修体験】

- 募集人員/10名(最少催行人員 5名)
- 参加料金/1人 5,000円(税別)
- 所要時間/60~90分

- 持参品等/汚れる作業となりますので、汚れても良い服装をご準備下さい。更衣が必要な場合には、予めお申し出下さい。その他、軍手・マスク等もご持参ください。
- 特典/参加者の皆さまには、碓氷峠鉄道文化むら特製「保全体験修了」缶バッジを進呈します。

※注意事項/実際の作業を行う場合は、事前のスタッフからの説明事項の順守並びに作業中における注意事項に必ず従ってください。

【保存車両の塗装・清掃体験】(実際の車両はこちらで指定します)

- 募集人員/20名(最少催行人員 10名)
- 参加料金/1人 3,000円(税別)
- 所要時間/60~90分

「トロッコ列車」で紅葉ライトアップ乗車体験 【旧丸山変電所往復】



- 募集人員/10名(最少催行人員 5名)
- 参加料金/1人 3,000円(税別)
- 所要時間/約30分

1997年9月30日で廃線となった横川〜軽井沢間の一部を使用したトロッコ列車にご乗車いただけます。文化財に指定されている旧丸山変電所では建物と周囲の紅葉をライトアップし、往時を感じていただけます。

※注意事項/紅葉シーズンのライトアップは薄暮以降の時間帯に運行となるため「ぶんかむらえき」にお戻りの時間は閉園時間間際となりますので、他のアトラクション・売店などは営業を終了している場合があります。

●横川駅発→碓部駅へ 17:21

●碓部温泉 ホテル碓部ゲートン チェックイン **碓部温泉宿泊** 18:00
童話「舌切雀物語」が生まれた宿。肌がつるつるになる美肌の湯が楽しめます。

2日目

●碓部散策 9:00 **信越線謎解きラリー③碓部編** 謎解きの後は、ホテルで謎解き完了プレゼント授与

●碓部駅 解散 駅周辺には碓部煎餅のお店もあるよ!ぜひ立ち寄ってみてね!



【EF63】
1963年に碓氷峠専用の電気機関車「EF63」が登場しました。1997年10月1日に北陸新幹線が長野まで開業されるまで碓氷線の運行を支えました。今では碓氷峠鉄道文化むらで4両が動態保存、3両が静態保存されています。



道路の側溝に使用されているアプト時代のラックレール。